

ミニギャラリー

今月の題字



熊野東中学校 2年
上田 雪乃さん

熊野東中学校 2年 戸澤 朱音 さん



【評】漢字と仮名の大きさに気を付けながら、流れ良く、形良く書けている作品です。特に力を抜くところを丁寧に最後まで気を抜かず、次の画につなげて書いています。

熊野東中学校 2年 越智 大翔 さん



【評】麒麟を、身近にある布や印刷物などを使って「コラーージュ」という技法で表現された、楽しい作品です。麒麟の足は、長さを変えて、遠近感も表現されています。足踏みから聞こえる音は、丸の中の花柄や花のフェルト柄などから音楽が聞こえてくるようです。

町の人口と世帯数

平成28年11月30日
(前年同月比較)



(住民基本台帳)

熊野の自然 (328)

ツチイナゴ

(バッタ科)



す。夏草の色で、敵に狙われないように身を守ります。成虫は10月頃から出現しますが生殖活動はせず、茂みなどで寒さを防ぎ暖かい日には日光を浴びています。複眼の下に涙が

大型のバッタでは、成虫で越冬する日本で唯一の種類です。殆どは、土の中で卵の状態越冬を越します。土の色なので、土蝗、土

稲子。枯れ草にも似た色は、冬季には最適の保護色です。写真は冬を越した成虫で、

これから恋の相手を見付け雌は土中に産卵します。孵化した幼虫は、脱皮する度に成虫の体に近付きます。

チョウやカブトムシなどは、幼虫、蛹、成虫と姿も生態も完全に変わる完全変態の昆虫ですが、トンボやバッタなどは、蛹の時代がない不完全変態の昆虫です。夏の間は黄緑色の幼虫で

垂れたような黒い筋が目立つのが特徴です。これは幼虫にも見られます。背中に黄白色の太い帯があります。頭から腹端までの体長は35〜50mm。雌は雄より大きく、頭から翅端までの長さは70mmほどにもなります。本州〜沖縄に分布します。バッタ科は「広島県昆虫誌」に21種の記録があり、「安芸熊野の自然誌」には本種の他に、シヨウリヨウバッタ、クルマバッタ、トノサマバッタが記載されています。三石山などでフキバッタの仲間を見えています。

【写真・文】

緑花文化士 富沢由美子

切り取って、電話機などに貼ってお使い下さい。

県内市町発!!

おすすめイベント

ピタコまつり

【第16回】

おたけかき水産まつり

あたたかマチ to レモンの無料試食(先着制)・焼きカキ、かき飯・かき雑炊などの有料試食・地元水産物(鮮魚・かき)の販売・ステージイベントなどが行われます。毎年多くの観光客で賑わいます。時1月22日(日)午前10時〜午後3時

所晴海臨海公園(小方港横) 問おたけかき水産まつり実行委員会(くば漁業協同組合) ☎0827・57・7034



(商工観光課)



「広報くまの」は再生紙と、認定を受けた環境にやさしい環境対応型インキを使用して印刷されています。